

# 交渉速報

J R貨物労組中央本部業務部

2021年2月18日

No.12

## 2021 JR総連春闘始まる！ ベースアップ 6,000 円要求!! 基準額・最低額・年齢保障給も 6,000 円改善すること!!

～ 「2021年度新賃金要求の申し入れ（申第6号）」第1回交渉報告 ～

中央本部は本日、「2021年度新賃金要求の申し入れ（申第6号）」とあわせて「諸要求改善に向けた申し入れ（申第7号）」を会社に申し入れ団体交渉を行ないました。

交渉にあたり中央本部は「この間のコロナ対策、災害対応、要員不足、安全確保に対する組合員の労苦に応えること」を提起した上で、①コロナ禍で多くの企業が赤字でベアを求めることに否定的ではあるが、貨物会社は1月期改定でも黒字計画である。②社員の生活向上の責任は会社にあり、他社に引けを取らない待遇が必要である。③会社の内部留保金は増え続けているが、人件費は下がり続けており、売上高に対する人件費率は決して高い数値ではない。④これらの実態を踏まえれば新賃金の引き上げには根拠がある。この間の組合員の労苦に報いるため社員への投資を行なうことは必要不可欠である。以上のことを前提に、2021年度の新賃金は6,000円の賃金引き上げを要求する。併せて、諸要求改善については「諸制度の改善」「契約・臨時社員の労働条件改善」「職場環境改善」「安全・事故防止」の内容を申し入れる。回答指定日は3月18日とするので、会社から誠意ある回答を求めました。

申し入れに対して会社は、①新型コロナウイルス感染症の感染防止の対応は大変であるが、指定公共機関の使命を果たしていただいていることに感謝申し上げる。②冬季に入り日本海縦貫線や北海道内の雪害対応や助勤など行なっていただいていることにも感謝申し上げる。③今年度は1月期改定計画では経常黒字を計画している。しかし年末年始からの雪害が大きく影響し計画から未達の状況にあり、現状では計画達成は厳しい状況であるが経常黒字の確保はめざしていきたい。貴組合の協力をお願いしたい。④人事賃金制度は社員が生き生きとやりがいを持つ制度にするため、貴組合と協議して良いものにしていく考えは変わっていない。また評価制度についても問題を提起されており改善を進めたい。⑤回答指定日にむけて緊張感をもって真摯に交渉を重ねていきたいとの考え方を明らかにしました。

会社の考え方に対して中央本部は、①雪害や緊急事態宣言により収入は減少しているが1月期改定は黒字計画であり、経常黒字をめざすのであれば組合員の頑張りがなければ達成できない。②自然災害で輸送障害が多発しており、長時間抑止や休活手配など輸送体制対策の充実が必要である。③コロナ禍で通常とは違う働き方が求められている。労働力の価値が変わってきており、ベア実施は当然である。申し入れに対して誠意と緊張感をもって交渉を行なうことを主張しました。会社は、社員の方々には大変がんばっていただいている。回答指定日にむけて真摯に議論していきたいとし、申し入れを終了しました。

第1回交渉報告（その2）に続く →